

大有コンクリート工業株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>大有コンクリート工業株式会社は、昭和3年創業以来、土木用コンクリート製品を主力に、近年では環境を意識したリサイクル製品や集中豪雨などへの対応をすべく雨水洪水対策製品、また自然災害に対応すべく防災・減災分野への製品にも積極的に取り組んでいます。そのため、社会の流れとしてSDGsが注目される中、わが社がそれに積極的に取り組めば、その取り組みがすべてSDGsの一翼となると考えさらに力を入れていくことを掲げました。また環境配慮の観点からも”あいくる製品”を積極的に製造・販売する等、環境に配慮し、経済活動も潤う循環になるようなWin Winの関係になれるよう日々努めています。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	9、11	防災・減災製品の積極的販促、下水製品、雨水製品の提案	防災・減災製品の製造量 590トン → 655トン (約11%UP) ※2025年まで
	社会	8	有給休暇取得率の向上	取得率67% (2021年) → 8割取得 ※2025年まで
環境	12	一般廃棄物溶融スラグ・高炉スラグを利用した、あいくる材認定製品の製造販売	一般廃棄物溶融スラグ 年間使用量1530トン → 1698トン (約11%UP) 高炉スラグ 年間使用量1470トン → 1631トン (約11%UP) ※共に2025年まで	